

子どもが、内から湧き上がる何かを表現するとき、
傍らにいる保育者はどのように在ることが
望ましいのでしょうか——。

展示を通して、日々の保育の様子をご覧いただき、
共に、保育者の在り方を考える場です。

保育園の「表現者たち」展

表現する子どもの姿、
共に在る保育者

会期

2018年7月15日(日) 16日(月・祝)
10:00~18:00(7/16は17:00まで)

会場

社会福祉法人みわの会
シンフォニア保育園

東京都江東区豊洲2-5-3-101
アーバンドックパークシティ豊洲 COURT-C
東京メトロ有楽町線「豊洲」駅
2番出口から徒歩7分(裏面ご参照ください)

入場

無料

主催

atelier le matin
社会福祉法人みわの会

協力

アトリエ ル・マタン
アーティストネットワーク

●保育を語り合う対話の場
「対話を通して、保育者の在り方を共に考える」

7月15日(日)13:00~15:30 / 定員40名(無料)
※ワークショップ終了後、お茶とお菓子のささやかな交流会
を行います。どうぞ、ご参加ください(参加無料)

★Facebook「保育園の表現者たち」展ページの
記事からお申し込みください(7月10日まで)

●ワークショップ

「造形表現～シンフォニア保育園での実践から」
7月16日(月・祝)13:00~15:30 / 定員40名(無料)
★Facebook「保育園の表現者たち」展ページの
記事からお申し込みください(7月10日まで)

詳しくは、Facebookページをご覧ください

facebook.com/hyougenshatachi

「保育園の表現者たち展」
「保育園の表現者たち展」で
検索してください

お問い合わせ(Eメール) hyougenshatachi@gmail.com

表現する子どもの姿、共に在る保育者



表現する子どもたちの姿

シンフォニア保育園では、この7年間、大人が答えを持ったうえで「描かせる」のではなく、子どもたち一人ひとりから湧き上がってくる「何か」を尊重する「美術の時間」を持っています。美術ゆえの一切否定のない関わり方、そこから見えてくる子どもたちの姿を、毎回じっくり行っている「振り返り」を通して探求し、そこから日常の保育につなげていく試みを続けているのです。

こうして、子どもたちの内なる力を信じ、活動を委ねている中で、これまで見たことのない子どもたちの姿が見えてきています。それは、乳児クラスから子どもたち自身でその日の過ごし方を決め、思いもよらぬ遊びを生み出し、一人ひとりが自分を主張する、生きる意欲に満ちた、力強く、それでいて柔軟な姿です。

保育者の在り方

その一方で、共に在る保育者には葛藤が絶えません。

“そうはいつでも、寝も必要なんじゃないか”

“そうはいつでも、人手が足りない”

“そうはいつでも、危険なんじゃないか”……。

これらの小さな声は決してなおざりにされていないものではありません。保育者は、どう在ることが、子どもの未来にとって、望ましいのでしょうか。

『保育園の「表現者たち」展』は、2014年にスタートし、今回で4回目を向かえます。私たち主催者は、子どもたちの未来のために、保育者の、専門家としての喜びのために、表現する子どもたちの姿、そして、保育者の在り方を、来場された方々とわかりあい、一緒に喜び、驚き、悩み、考えていただきたいと願っています。



みわの会 保育フォーラム

保育園の「表現者たち」展 2018

【会期】 2018年7月15日(日) 10:00～18:00

16日(月・祝) 10:00～17:00

【会場】 社会福祉法人みわの会 シンフォニア保育園

東京都江東区豊洲2-5-3-101

アーバンドックパークシティ豊洲COURT-C

【主催】 atelier le matin / 社会福祉法人みわの会

【お問い合わせ】 hyougenshatachi@gmail.com

[facebook.com/hyougenshatachi](https://www.facebook.com/hyougenshatachi)

保育園の表現者たち展 「保育園の表現者たち展」で検索してください

※展覧会は、事前申込の必要はありません。ご自由にご覧いただけます
※園児の個人情報保護の為、個人が特定されるような写真、動画等の撮影はご遠慮ください

